2011 年（平成 23 年） 3 月 29 日　火曜日

東奥日報新聞　掲載

光星 2勝目へ気合十分

きょう、智弁和歌山戦

練習が終わり、仲井監督の言葉に耳を傾ける光星学院ナイン。「野球ができる感謝の気持ちを忘れないように」と念を押された

本県の光星学院は大会第7日の29日、第3試合で智弁和歌山と8強入りを懸け、2回戦で激突する。名将率いる甲子園常連校が相手だけに、厳しい戦いになりそうだが、光星学院ナインは1回戦で果たしたセンバツ初勝利に続く「春2勝目」を目指し、気合十分だ。

光星学院は試合を翌日に控えた28日、兵庫県西宮市内のグラウンドで練習を行い、フリー打撃やノックなど通常通りのメニューをこなした。練習後は仲井監督がナインに「（大変な状況の中で野球をやれる）感謝の気持ちを常に持ち続けて試合をやるように」と呼び掛け、気持ちを引き締めた。

試合での登板が予想される主戦の秋田は「ピッチングの調子は悪くない。初戦は序盤に緊張があったが、味方が点を取ってくれて楽になった。次は自分が相手を抑えてみんなを楽にしたい」と決意を語った。

対戦相手の智弁和歌山も大阪府豊中市内で打撃などを練習。主将の中村は一甲子園という舞台で百パーセントの力を出し切れれば、相手は打撃が良いチーム。投手がどれだけ抑えてくれるかで、勝機が見えてくる」と話した。（白鳥遵）

光星学院 甲子園だより

荒屋敷篤士（3年）

みんなの気持ち一つ

「次もまた勝ち抜こうと、みんなの気持ちが一つになった」と2回戦前日の練習を終え語る。「今年の智弁和歌山は投手のチーム。自分たちの持ち味である打線では負けないようにしたい」と意気込みも。

宿舎では、家族や地元の友人らと携帯電話のメールでやりとりをしている。「『頑張って』と言ってもらったり、自分のことを気に掛けてもらって励みになる」

（足川中出身、1メートル74センチ、右投げ右打ち）

光星学院の2回戦の相手は強豪智弁和歌山。各学年の選手数がわずか10人、計20人という少数精鋭チームとして知られる。1回戦で佐渡（新潟）に8―1で快勝、名将・高嶋監督の甲子園春夏通算60勝を飾った。

智弁和歌山 高嶋監督

光星学院 仲井監督

光星×智弁和歌山 監督一問一答

接戦に持ち込みたい 仲井監督

点取られないように 高嶋監督

全チーム中トップの打率（昨秋）を誇る光星学院も、1回戦で水城（茨城）を10―0で圧倒し勢いに乗っている。智弁和歌山は2000年夏の全国高校選手権準決勝で敗れた因縁の相手でもある。両校の指揮官に意気込みを聞いた。

―お互いのチームの印象と警戒する選手は。

光星学院・仲井監督　甲子園常連校で非常に能力の高い選手がおり、走攻守に隙がない。タイプが違うが、レベルの高い投手もいて、簡単に点は取れない。打者は6番の嶋君が気になる。小柄だが、シュアでシャープな打撃をする。

智弁和歌山・高嶋監督　強いな、という印象。4番の田村君は良いスイング。主戦秋田君は高校生としてはAランク。コントロール、球の切れも良い。体の使い方が上手。

―現在のチーム状態とポイントになる選手は。

仲井監督　1試合を終えて、気の抜けたような雰囲気はない。体の疲れはないが気持ちの疲労はあると思うので、試合までにベストなコンディションにしたい。1回戦は金山と北條にヒットが出ていないので、2人に機能してほしい。秋田も力みが見えたので修正できれば。

高嶋監督　チーム状態は悪くないが、まだまだ。何せ、自分が持った中で〝最悪〟のチーム。甲子園経験者が少ない。高望みはできないが、終わってみれば勝っているというチーム。1、3、6番が打ってくれれば得点になるので期待している。試合では調子の良い投手に投げさせたい。

―理想の試合展開は。

仲井監督　どうなるか分からないが、1回戦のような完封はないと思う。どちらかのチームが前半で点差がついても、最後まで粘り強く、しつこく攻撃できたい。

高嶋監督　勝つとすれば、競ったゲーム。5、6点を先に入れられたら…。できるだけ点を取られないようにしたい。ロースコアでいってくれないと。

―試合に向けて。

仲井監督　初戦と一緒だが、このような中で野球をやらせてもらえるという感謝の気持ちを持っている。少しずつ元気を取り戻しつつある東北の人たちの励みになる野球をしたい。全力を出し切る。

高嶋監督　全力でプレーできれば。勝ち負けを余り意識せず、伸び伸びとやってくれれば良い。

東奥日報社提供